

## ごあいさつ

広島県安芸郡熊野町

町長 三村 裕史



「第52回ふれあい書道展」が、多くの書道愛好家の御理解と御協力をいただき開催できましたことに対し、厚くお礼を申し上げます。

広島県熊野町は、江戸時代末期から連綿と受け継がれてきた、筆づくりの技術が現在も息づいているまちです。伝統的工芸品である「熊野筆」で知られる「筆の都」として、長年その文化を継承し、栄えて参りました。近年は、書道用筆のみならず、化粧筆や画筆においても高い技術と生産量を誇っています。

本町では現在、熊野筆文化の調査・研究を改めて行うなど、筆文化の継承と振興により一層の力を注いでおります。昨年5月には「熊野地域の筆製作技術」が広島県の無形民俗文化財に指定されました。今後も熊野筆文化を未来へと繋いでいくため「筆の都」と呼ばれるにふさわしいまちづくりに取り組んで参ります。

さて、ふれあい書画展は、平成11年から続く全国の書道愛好家を対象とした公募展となっており、今回で52回目を迎えました。全国47都道府県のみならず国外からも、最年少は2歳から最高齢は105歳までの幅広い書道愛好家の方々から20,466点の応募をいただきました。このことは筆の都熊野町としては喜ばしいことであり、筆を持ち、書に親しむ楽しさを多くの方に味わっていただくことで、筆文化の振興と筆を通じた交流が深まっている事を実感しています。

このふれあい書道展は書を志す方はもちろんのこと、少しでも書道に興味のある方、腕試しをしてみたいという方も是非ご参加いただき、書を楽しんでいただきたいと思います。

結びに、この書道展を開催するにあたり、広島県、広島県教育委員会その他関係諸団体の皆様から御支援、御協力をいただきましたことに深く感謝の意を表し、御挨拶といたします。

## 第52回ふれあい書道展について

全国書画展覧会運営委員会

委員長 時光良造



全国の書道愛好家の皆様方に支えられて「第52回ふれあい書道展」が盛大に実施できましたことに対し、厚く御礼を申し上げます。

今回は、47都道府県と海外の1,736団体から20,466点の力作が寄せられました。本書道展にふさわしく、2歳から105歳の方まで、実に幅広い年齢層の方からご出品いただき、生涯に渡って書に親しんでいる様子を伺うことができました。また、今回も台湾からたくさんの方が作品が届き、海外においても筆を持ち、書に親しんでいる様子を伺うことができました。

本書道展は、小・中学生は書写作品を推奨し、いわゆる書の流派などにとらわれない公正公平な審査を高く評価していただいています。また、日本の伝統文化である書道を継承し、成長の記念にさせていただこうと出品者全員に作品画像入りの賞状を贈呈しています。

最終審査は審査長として、今回も元文部科学省教科調査官で東京学芸大学名誉教授の加藤祐司先生、前文部科学省教科調査官で東京学芸大学教授の加藤泰弘先生にご依頼しまして、特別賞40点の作品を厳正に、丁寧に選んでいただきました。

この度、栄えある賞を受賞されました皆様、心よりお祝い申し上げます。「特別賞」「筆都大賞」「ふれあい賞」の優秀作品は、全国一の筆の生産量を誇る「筆の都」熊野町の町民会館ロビーにおいて、3月13日から3月22日まで展覧会を開催いたしました。

今後とも書を通じて豊かな感性と表現力を育むとともに、書の魅力をより多くの人に伝えていただき、本書道展が創作活動の励みとなることを願っています。次回も作品をお寄せくださいますようよろしくお願いいたします。

終わりに、この書道展の運営及び開催に当たり、広島県、広島県教育委員会をはじめご後援、ご協力をいただきました関係各団体の皆様に対し、厚くお礼を申し上げます。

## 第52回ふれあい書道展 入賞数一覧

賞		賞数	半紙	条幅	その他
特別賞	広島県知事賞	4	2	2	
	広島県議会議長賞	4	2	2	
	広島県教育委員会賞	4	2	2	
	中国新聞社賞	4	2	2	
	熊野町長賞	4	2	2	
	熊野町議会議長賞	4	2	2	
	熊野町教育委員会賞	4	2	2	
	熊野町商工会長賞	4	2	1	1
	熊野筆事業協同組合理事長賞	4	2	1	1
	ふれあい書道展審査長賞	4	2		2
筆 都 大 賞		216	144	61	11
ふれあい賞	シルバー大賞	9	9		
	キッズ大賞	3	3		
海外特別奨励賞		2	1	1	
特 選		8,050	5,290	1,157	1,603
奨 励 賞		9,955	7,191	1,055	1,709
敢 闘 賞		2,191	1,698	129	364
合 計		20,466	14,356	2,419	3,691

## 第52回ふれあい書道展 出品者年代別構成表

